

京都府豊かな森を育てる府民税事業成果

府民税 使途分野	Ⅲ 森林の重要性の啓発	
事業名	Ⅲ 豊かな森林継承事業費	
事業概要	<p>1 目的</p> <p>府民参加の森林づくりが進むよう、活動指導者や次代を担う青少年を育成し、災害防止機能など森林の多様な機能に対する府民理解を促進する。</p> <p>2 内容</p> <p>森の魅力を伝えるため、府民参加の森林整備をはじめ、木材利用を促進するセミナーや木製品展示、林業技術のPRを行うとともに、若者が森林に親しみ大切さを学ぶことで豊かな森林を次世代に継承できるよう、子ども向けの木育イベントや森林学習の交流会、京都府産材活用の設計コンペを実施</p> <p>3 事業実績（R5年度）</p>	
	事業区分	事業費
	豊かな森林継承事業	17,112千円
	主な内容	
	<ul style="list-style-type: none"> ・Woodyコンテスト作品応募57名 ・森林等の魅力を発信するイベント開催 【10イベント、計432名参加】 森林学習会、商業施設等での木材利用啓発イベント(3回)、Woodyコレクション2024への出展、竹林整備新技術実演会、林業や木材加工魅力PRイベント、漆を使った草木染体験、花粉の少ないスギを学ぼう講座と秋の味覚体験、漆の絵付け体験 ・京都山キッズ交流会開催（京都府立府民の森ひよし）計223名参加 ・京都モデルフォレスト運動支援強化事業 	
		
	京都山キッズ交流会（府民の森ひよし）	

指標	R5年度 実績値／目標値（達成率）	R5年度までの実績値 ／5年間の目標値
Ⅲ 森林の多様な機能についての 府民理解の促進（イベント参 加者）	712人／600人（119%）	1,742人／3000人

1 上記達成率となった理由

Ⅲ 森林の多様な機能についての府民理解の促進（イベント参加者）

- ・多様なイベントの開催により、令和5年度における目標値に対し119%の達成率となった。また、5年間の目標値に対しては58%の達成率となっているが、コロナ情勢におけるイベント開催の中止や規模縮小を余儀なくされたことが要因である。

2 地域住民や実施主体の意見

- ・Woodyコンテストは、建築を学ぶ学生のモチベーションを上げるとも良い取り組み。是非継続してほしい。
- ・木材利用啓発イベントの参加者のうち9割の方が北山丸太を自宅やオフィスなど生活に取り入れたいと感想を述べていた。
- ・漆を使った草木染体験参加者からはきれいに染め上がり大変喜ばれており、また参加したいと反響があった。
- ・京都山キッズ交流会では、森林散策を通して木々や生き物と触れ合うことができ、貴重な体験となったと多くの声があった。

3 今後の事業の方向性

- ・各種イベントが好評であり、引き続き多くの府民が森林の重要性を体感する機会を創出するため、継続して実施する。新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、イベント参加者が増加傾向にあり、今後さらに集客を図るため、PRへの注力と参加者の意見やニーズを取り入れていくこととする。

自己評価

評価委員
会の意見

- ・たくさんの参加者があり、非常に評価できる
- ・木材利用の普及啓発イベントの参加者に対して、ひろがる京の木整備事業の周知を図るなど、実際の木材利用へと繋げていく取組が効果的